

士別市地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

- ・農村地域を運行する路線では、急速な少子高齢化や過疎化の進展により利用者が大幅に減少するなかで、効率的で利便性が高く、持続可能な公共交通となるよう運行体制の見直しが求められている。
- ・特に武徳地域は、利便性向上と効率化の両立を図るなかで、予約状況に応じた臨機応変で広範囲をカバーした運行をすることにより、新たな利用者の拡大を図る必要がある。
- ・地域間幹線系統名寄線と接続する武徳地域へのフィーダー系統として、維持・確保が必要である。

生活交通確保維持改善計画の目標

- ・デマンド化による一定のコスト削減のもと、持続可能な運行体制を確立する。
 - ・地域内を広範囲にカバーし、フットワークのよい運行体制を確立する。
 - ・スムーズな予約受け付け体制やホスピタリティの向上など、利用促進のための環境づくりを進める。
 - ・通学での固定化した利用者のみならず、通院や買い物等での高齢者の利用促進を図る。
 - ・武徳小学校の閉校に伴う通学利用の増加に対応するとともに、安全で快適な運行をめざす。
- [目標値] 運行サービス向上による利用促進 20.0人/日
高齢者の利用促進 40人/月

令和元年度事業概要

武徳線(士別駅-武徳12号間)をデマンド運行

地域公共交通の現況

- ・JR宗谷本線(士別駅、下士別駅、多寄駅、瑞穂駅)
- ・道北バス(株)(市内1路線)
- ・士別軌道(株)(市内12路線)
- ・スクールバス(4路線)

協議会開催状況

平成31年3月26日 H30年度 第5回協議会

- ・士別市地域公共交通網形成計画
- ・新年度事業計画 ほか

令和元年6月24日 R1年度 第1回協議会

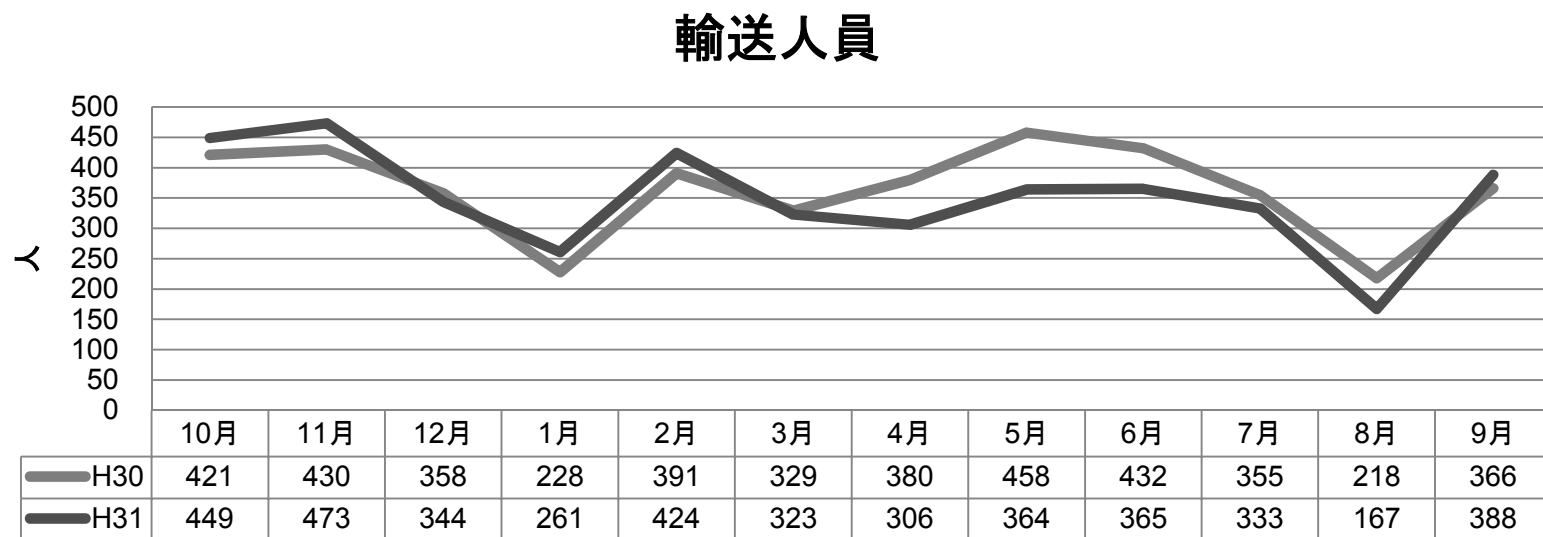
- ・地域内フィーダー系統確保維持計画 ほか

※消費税増税に伴い、第2回、第3回は書面開催

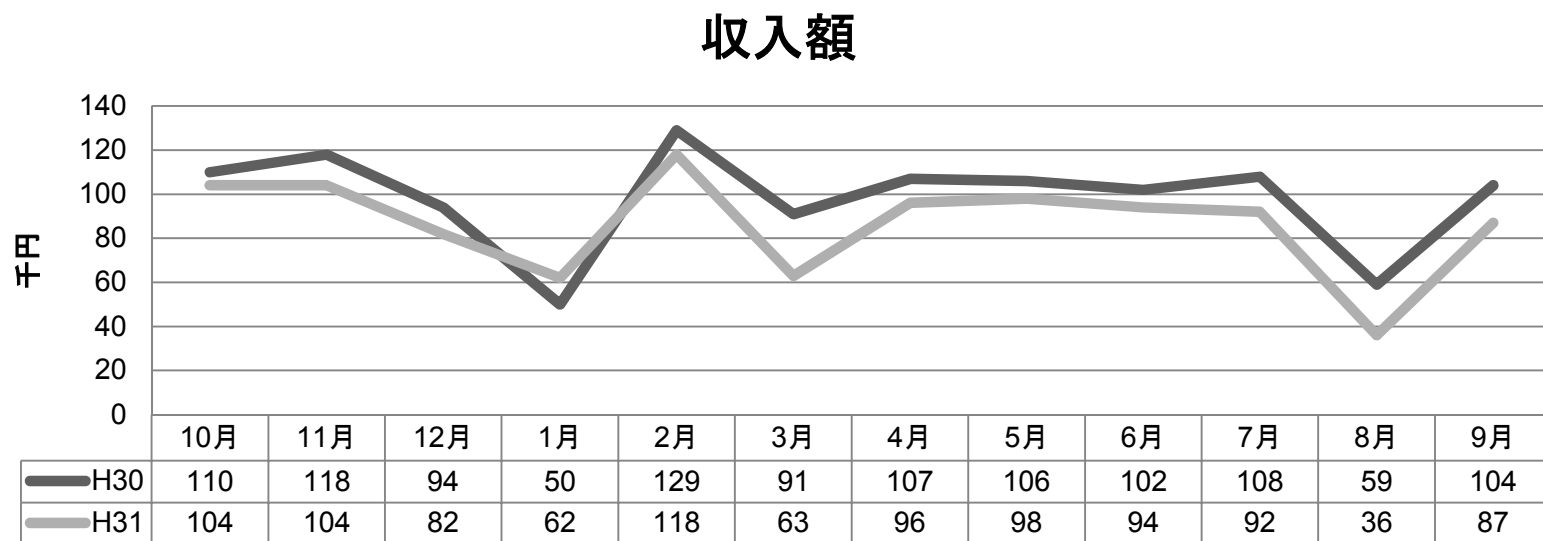
令和元年12月23日 R1年度 第4回協議会

- ・市内バス路線の変更
- ・さほっちタクシー事業 ほか

3) 利用実績



4) 収入実績



5) 事業実施の適切性

計画通り事業は適切に実施された。

7) 事業の今後の改善点

概ね計画通りの事業実施がなされた。

全体での利用減少の要因としては、平成31年4月から開始された敬老バス有料化が要因と考えられる。

地域公共交通網形成計画に沿った全市的な利用促進の取り組みを通じ、新たな利用者の掘り起こし等をめざして取り組みを進めていきたい。

6) 目標・効果達成状況

乗車人数は、目標20.0人/日に対して19.80人/日であった。

高齢者の利用は、目標40人/月に対して28人/月であった。

⇒全体の乗車数、高齢者の利用ともに、平成31年4月から開始された敬老バス有料化が要因と考えられる。

8) 地方運輸局における二次評価結果

(令和2年度分と併せて評価)